

沿岸広域振興局長



提出者 SMC株式会社
住所 〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目14-1
秋葉原UDX15階

氏名 代表取締役社長 高田 芳樹
(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	SMC株式会社釜石工場	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県釜石市上中島町2丁目4番1号	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	8,266 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
SMC株式会社釜石工場	〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2丁目4番1号	1,969 kℓ
SMC株式会社釜石第2工場	〒026-0000 岩手県釜石市岩井町1丁目4番地	602 kℓ
SMC株式会社釜石第3工場	〒026-0055 岩手県釜石市甲子町10地割405番地22	35 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A 4）

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

[illegible]

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO2)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO2)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO2)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)			kL		kL					
	原油のうちコンデンセート (NGL)			kL		kL					
	揮発油 (ガソリン)		1.10	kL	37	kL		37	3	3	-1
	ナフサ			kL		kL					
	ジェット燃料			kL		kL					
	灯油		736.00	kL	26,864	kL		26,864	1,842	1,242	600
	軽油			kL		kL					
	A重油		6.10	kL	237	kL		237	17	8	8
	B・C重油			kL		kL					
	石油アスファルト			t		t					
	石油コークス			t		t					
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	720.10	t	36,077	t		36,077	2,156	2,301	-145
		石油系炭化水素ガス		千m³		千m³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t		t					
		その他可燃性天然ガス		千m³		千m³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t	t					
			コークス用原料炭		t	t					
			吹込用原料炭		t	t					
		一般炭	輸入一般炭		t	t					
			国産一般炭		t	t					
			輸入無煙炭		t	t					
	石炭コークス			t		t					
	コールタール			t		t					
	コークス炉ガス			千m³		千m³					
	高炉ガス			千m³		千m³					
	発電用高炉ガス			千m³		千m³					
	転炉ガス			千m³		千m³					
	その他の燃料	都市ガス		千m³		千m³					
		()									
		()									
非化石燃料	黒液			t		t					
	木材			t		t					
	木質廃材			t		t					
	バイオエタノール			kL		kL					
	バイオディーゼル			kL		kL					
	バイオガス			千m³		千m³					
	その他バイオマス			t		t					
	RDF			t		GJ/t					
	RPF			t		GJ/t					
	廃タイヤ			t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)			t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)			t		GJ/t					
	廃油			kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス			千m³		千m³					
	混合廃材			t		t					
	水素			t		t					
	アンモニア			t		t					
その他燃料()											
小 計 ①								63,215	4,017	3,555	462
熱	産業用蒸気			GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気			GJ		GJ					
	温水			GJ		GJ					
	冷水			GJ		GJ					
	地熱			GJ		GJ					
	温泉熱			GJ		GJ					
	太陽熱			GJ		GJ					
	雪氷熱			GJ		GJ					
小 計 ②											
電気	電気事業者①		29,696.42	千kWh	256,577		千kWh	256,577			
	電気事業者② ※複数契約している場合使用			千kWh			千kWh				
	自己託送 (非燃料由来を除く)			千kWh			千kWh				
	自家発電	太陽光	165.19	千kWh	595		千kWh	595			
		水力		千kWh			千kWh				
		風力		千kWh			千kWh				
		その他		千kWh			千kWh				
小 計 ③								257,172			
合 計 ④=①+②+③								320,387	4,017	3,555	462

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	8,266	kL
--------------	-------	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	4,017	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		4,017	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類			(2023)年度						二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
			エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						E=B-D
			数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)			kL		kL						
	原油のうちコンデンセート (NGL)			kL		kL						
	揮発油 (ガソリン)		1.10	kL	37	kL		37	3	3	-1	
	ナフサ			kL		kL						
	ジェット燃料			kL		kL						
	灯油		58.20	kL	2,124	kL		2,124	146	204	-58	
	軽油			kL		kL						
	A重油			kL		kL						
	B・C重油			kL		kL						
	石油アスファルト			t		t						
	石油コークス			t		t						
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	176.30	t	8,833	t		8,833	528	606	-78	
		石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³						
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t		t						
		その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³						
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t	t						
			コークス用原料炭		t	t						
			吹込用原料炭		t	t						
		一般炭	輸入一般炭		t	t						
			国産一般炭		t	t						
		輸入無煙炭		t	t							
	石炭コークス			t		t						
	コールタール			t		t						
	コークス炉ガス			千m ³		千m ³						
	高炉ガス			千m ³		千m ³						
	発電用高炉ガス			千m ³		千m ³						
	転炉ガス			千m ³		千m ³						
	その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³						
		()										
		()										
	非化石燃料	黒液			t		t					
木材			t		t							
木質廃材			t		t							
バイオエタノール			kL		kL							
バイオディーゼル			kL		kL							
バイオガス			千m ³		千m ³							
その他バイオマス			t		t							
RDF			t		GJ/t							
RPF			t		GJ/t							
廃タイヤ			t		GJ/t							
廃プラスチック(一般廃棄物)			t		GJ/t							
廃プラスチック(産業廃棄物)			t		GJ/t							
廃油			kL		GJ/kL							
廃棄物ガス			千m ³		千m ³							
混合廃材			t		t							
水素			t		t							
アンモニア			t		t							
その他燃料()												
小 計 ①							10,994	676	814	-137		
熱	産業用蒸気			GJ		GJ						
	産業用以外の蒸気			GJ		GJ						
	温水			GJ		GJ						
	冷水			GJ		GJ						
	地熱			GJ		GJ						
	温泉熱			GJ		GJ						
	太陽熱			GJ		GJ						
	雪氷熱			GJ		GJ						
小 計 ②												
電気	電気事業者①		7,560.50	千kWh	65,323	千kWh	65,323					
	電気事業者② ※複数契約している場合使用			千kWh		千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)			千kWh		千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh		千kWh						
		水力		千kWh		千kWh						
		風力		千kWh		千kWh						
その他			千kWh		千kWh							
小 計 ③							65,323					
合 計 ④=①+②+③							76,316	676	814	-137		

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,969	kL
--------------	-------	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	676	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		676	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL			kL						
	揮発油 (ガソリン)		kL			kL						
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油	153.20	kL	5,592		kL		5,592	383	251	132	
	軽油		kL			kL						
	A重油		kL			kL						
	B・C重油		kL			kL						
	石油アスファルト		t			t						
	石油コークス		t			t						
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t					
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
		輸入無煙炭		t			t					
	石炭コークス		t			t						
	コールタール		t			t						
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³						
	高炉ガス		千m ³			千m ³						
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³						
	転炉ガス		千m ³			千m ³						
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³						
	()											
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m ³			千m ³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
	廃油		kL			GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³						
	混合廃材		t			t						
	水素		t			t						
	アンモニア		t			t						
その他燃料()												
小 計 ①								5,592	383	251	132	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
	温水		GJ			GJ						
	冷水		GJ			GJ						
	地熱		GJ			GJ						
	温泉熱		GJ			GJ						
	太陽熱		GJ			GJ						
	雪氷熱		GJ			GJ						
小 計 ②												
電気	電気事業者①	2,053.30	千kWh	17,740		千kWh		17,740				
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
		その他		千kWh			千kWh					
小 計 ③								17,740				
合 計 ④=①+②+③								23,332	383	251	132	

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	602	kL
--------------	-----	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	383	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		383	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023)年度									
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量			E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
	揮発油(ガソリン)		kL			kL					
	ナフサ		kL			kL					
	ジェット燃料		kL			kL					
	灯油		kL			kL					
	軽油		kL			kL					
	A重油	6.10	kL	237		kL	237		17	8	8
	B・C重油		kL			kL					
	石油アスファルト		t			t					
	石油コークス		t			t					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	t			t					
		石油系炭化水素ガス	千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	t			t					
		その他可燃性天然ガス	千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭	t		t					
			コークス用原料炭	t		t					
		一般炭	吹込用原料炭	t		t					
			輸入一般炭	t		t					
			国産一般炭	t		t					
		輸入無煙炭		t		t					
	石炭コークス		t			t					
	コールタール		t			t					
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
	高炉ガス		千m ³			千m ³					
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
	転炉ガス		千m ³			千m ³					
	その他の燃料	都市ガス	千m ³			千m ³					
		()									
	()										
非化石燃料	黒液		t			t					
	木材		t			t					
	木質廃材		t			t					
	バイオエタノール		kL			kL					
	バイオディーゼル		kL			kL					
	バイオガス		千m ³			千m ³					
	その他バイオマス		t			t					
	RDF		t			GJ/t					
	RPF		t			GJ/t					
	廃タイヤ		t			GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
	廃油		kL			GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
	混合廃材		t			t					
	水素		t			t					
	アンモニア		t			t					
	その他燃料()										
小 計 ①								237	17	8	8
熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
	温水		GJ			GJ					
	冷水		GJ			GJ					
	地熱		GJ			GJ					
	温泉熱		GJ			GJ					
	太陽熱		GJ			GJ					
	雪氷熱		GJ			GJ					
	小 計 ②										
	電気事業者①	127.98	千kWh	1,106		千kWh		1,106			
電気	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
	自家発電	太陽光	千kWh			千kWh					
		水力	千kWh			千kWh					
		風力	千kWh			千kWh					
		その他	千kWh			千kWh					
	小 計 ③							1,106			
合 計 ④=①+②+③								1,343	17	8	8

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	35	kL
--------------	----	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	17	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		17	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL					
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL			kL					
	揮発油 (ガソリン)		kL			kL					
	ナフサ		kL			kL					
	ジェット燃料		kL			kL					
	灯油		kL			kL					
	軽油		kL			kL					
	A重油		kL			kL					
	B・C重油		kL			kL					
	石油アスファルト		t			t					
	石油コークス		t			t					
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	543.80	t	27,244		t	27,244	1,628	1,695	-67
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³				
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t				
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³				
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t				
			コークス用原料炭		t		t				
			吹込用原料炭		t		t				
		一般炭	輸入一般炭		t		t				
			国産一般炭		t		t				
		輸入無煙炭		t		t					
	石炭コークス		t		t						
	コールタール		t		t						
	コークス炉ガス		千m ³		千m ³						
	高炉ガス		千m ³		千m ³						
	発電用高炉ガス		千m ³		千m ³						
	転炉ガス		千m ³		千m ³						
	その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³					
		()									
		()									
非化石燃料	黒液		t			t					
	木材		t			t					
	木質廃材		t			t					
	バイオエタノール		kL			kL					
	バイオディーゼル		kL			kL					
	バイオガス		千m ³			千m ³					
	その他バイオマス		t			t					
	RDF		t			GJ/t					
	RPF		t			GJ/t					
	廃タイヤ		t			GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
	廃油		kL			GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
	混合廃材		t			t					
	水素		t			t					
	アンモニア		t			t					
その他燃料()											
小 計 ①								27,244	1,628	1,695	-67
熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
	温水		GJ			GJ					
	冷水		GJ			GJ					
	地熱		GJ			GJ					
	温泉熱		GJ			GJ					
	太陽熱		GJ			GJ					
	雪氷熱		GJ			GJ					
小 計 ②											
電気	電気事業者①	9,141.16	千kWh	78,980		千kWh	78,980				
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh				
		水力		千kWh			千kWh				
		風力		千kWh			千kWh				
		その他		千kWh			千kWh				
小 計 ③								78,980			
合 計 ④=①+②+③								106,224	1,628	1,695	-67

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,741	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	1,628	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		1,628	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類			(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
			エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
			数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)			kL			kL					
	原油のうちコンデンセート (NGL)			kL			kL					
	揮発油 (ガソリン)			kL			kL					
	ナフサ			kL			kL					
	ジェット燃料			kL			kL					
	灯油		115.90	kL	4,230		kL		4,230	290		290
	軽油			kL			kL					
	A重油			kL			kL					
	B・C重油			kL			kL					
	石油アスファルト			t			t					
	石油コークス			t			t					
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t					
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
		輸入無煙炭			t		t					
	石炭コークス			t			t					
	コールタール			t			t					
	コークス炉ガス			千m ³			千m ³					
	高炉ガス			千m ³			千m ³					
	発電用高炉ガス			千m ³			千m ³					
	転炉ガス			千m ³			千m ³					
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³						
	()											
	()											
非化石燃料	黒液			t			t					
	木材			t			t					
	木質廃材			t			t					
	バイオエタノール			kL			kL					
	バイオディーゼル			kL			kL					
	バイオガス			千m ³			千m ³					
	その他バイオマス			t			t					
	RDF			t			GJ/t					
	RPF			t			GJ/t					
	廃タイヤ			t			GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)			t			GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)			t			GJ/t					
	廃油			kL			GJ/kL					
	廃棄物ガス			千m ³			千m ³					
	混合廃材			t			t					
	水素			t			t					
	アンモニア			t			t					
その他燃料()												
小 計 ①									4,230	290		290
熱	産業用蒸気			GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気			GJ			GJ					
	温水			GJ			GJ					
	冷水			GJ			GJ					
	地熱			GJ			GJ					
	温泉熱			GJ			GJ					
	太陽熱			GJ			GJ					
	雪氷熱			GJ			GJ					
小 計 ②												
電気	電気事業者①		2,534.82	千kWh	21,901		千kWh		21,901			
	電気事業者② ※複数契約している場合使用			千kWh			千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)			千kWh			千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
		その他		千kWh			千kWh					
小 計 ③									21,901			
合 計 ④=①+②+③									26,131	290		290

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	674	kL
--------------	-----	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	290	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		290	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)			kL		kL					
	原油のうちコンデンセート (NGL)			kL		kL					
	揮発油 (ガソリン)			kL		kL					
	ナフサ			kL		kL					
	ジェット燃料			kL		kL					
	灯油		305.60	kL	11,154	kL		11,154	765	787	-22
	軽油			kL		kL					
	A重油			kL		kL					
	B・C重油			kL		kL					
	石油アスファルト			t		t					
	石油コークス			t		t					
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t		t					
		石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t		t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t				
			コークス用原料炭		t		t				
			吹込用原料炭		t		t				
		一般炭	輸入一般炭		t		t				
			国産一般炭		t		t				
		輸入無煙炭			t		t				
	石炭コークス			t		t					
	コールタール			t		t					
	コークス炉ガス			千m ³		千m ³					
	高炉ガス			千m ³		千m ³					
	発電用高炉ガス			千m ³		千m ³					
	転炉ガス			千m ³		千m ³					
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³						
	()										
	()										
非化石燃料	黒液			t		t					
	木材			t		t					
	木質廃材			t		t					
	バイオエタノール			kL		kL					
	バイオディーゼル			kL		kL					
	バイオガス			千m ³		千m ³					
	その他バイオマス			t		t					
	RDF			t		GJ/t					
	RPF			t		GJ/t					
	廃タイヤ			t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)			t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)			t		GJ/t					
	廃油			kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス			千m ³		千m ³					
	混合廃材			t		t					
	水素			t		t					
	アンモニア			t		t					
	その他燃料()										
小 計 ①								11,154	765	787	-22
熱	産業用蒸気			GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気			GJ		GJ					
	温水			GJ		GJ					
	冷水			GJ		GJ					
	地熱			GJ		GJ					
	温泉熱			GJ		GJ					
	太陽熱			GJ		GJ					
	雪氷熱			GJ		GJ					
	小 計 ②										
電気	電気事業者①		5,763.69	千kWh	49,798		千kWh	49,798			
	電気事業者② ※複数契約している場合使用			千kWh			千kWh				
	自己託送(非燃料由来を除く)			千kWh			千kWh				
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh				
		水力		千kWh			千kWh				
		風力		千kWh			千kWh				
		その他		千kWh			千kWh				
小 計 ③								49,798			
合 計 ④=①+②+③								60,953	765	787	-22

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,573	kL
--------------	-------	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	765	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		765	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油 (コンデンセートを除く)			kL		kL						
	原油のうちコンデンセート (NGL)			kL		kL						
	揮発油 (ガソリン)			kL		kL						
	ナフサ			kL		kL						
	ジェット燃料			kL		kL						
	灯油		103.10	kL	3,763	kL		3,763	258		258	
	軽油			kL		kL						
	A重油			kL		kL						
	B・C重油			kL		kL						
	石油アスファルト			t		t						
	石油コークス			t		t						
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t		t						
		石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³						
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t		t						
		その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³						
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
		輸入無煙炭			t		t					
	石炭コークス			t		t						
	コールタール			t		t						
	コークス炉ガス			千m ³		千m ³						
	高炉ガス			千m ³		千m ³						
	発電用高炉ガス			千m ³		千m ³						
	転炉ガス			千m ³		千m ³						
	その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³						
		()										
		()										
非化石燃料	黒液			t		t						
	木材			t		t						
	木質廃材			t		t						
	バイオエタノール			kL		kL						
	バイオディーゼル			kL		kL						
	バイオガス			千m ³		千m ³						
	その他バイオマス			t		t						
	RDF			t		GJ/t						
	RPF			t		GJ/t						
	廃タイヤ			t		GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)			t		GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)			t		GJ/t						
	廃油			kL		GJ/kL						
	廃棄物ガス			千m ³		千m ³						
	混合廃材			t		t						
	水素			t		t						
	アンモニア			t		t						
	その他燃料()											
小 計 ①								3,763	258		258	
熱	産業用蒸気			GJ		GJ						
	産業用以外の蒸気			GJ		GJ						
	温水			GJ		GJ						
	冷水			GJ		GJ						
	地熱			GJ		GJ						
	温泉熱			GJ		GJ						
	太陽熱			GJ		GJ						
	雪氷熱			GJ		GJ						
小 計 ②												
電気	電気事業者①		2,514.98	千kWh	21,729		千kWh		21,729			
	電気事業者② ※複数契約している場合使用			千kWh			千kWh					
	自己託送 (非燃料由来を除く)			千kWh			千kWh					
	自家発電	太陽光	165.19	千kWh	595		千kWh		595			
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
		その他		千kWh			千kWh					
小 計 ③								22,324				
合 計 ④=①+②+③								26,087	258		258	

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	673	kL
--------------	-----	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	258	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		258	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2020～2022年度平均生産高原単位比

CO2排出量削減2023年度目標値1%以上に対し、釜石地区:-19%、遠野地区:-7%と未達成。

釜石第5工場と新工場増設、稼働開始に伴いエネルギー使用量が増量したが、設備移動、生産立上中など、まだ生産高に繋がっていないことや受注減による生産高減が大きく影響し未達成となった。

電気、灯油は新工場増設、夏季の熱中症対策として空調稼働時間の増加等が影響して増加した。

LPGは鑄造工程の生産減の影響で使用量減となった。

A重油、揮発油は少量のため問題ははないと考える。

空調温度管理、フォークリフト使用管理を継続して実施し無駄な燃料使用を避ける。

今後は生産効率向上の施策を検討し推進して削減に努める。

廃棄物排出量削減2023年度目標値1%以上に対し、釜石地区:-22%と未達成、遠野地区:11%と達成。

釜石第5工場稼働開始に伴い、廃棄物排出量増量してきたが、生産高に繋がっていないことや受注減による生産高減が大きく影響し未達成となった。

遠野工場では、油性切削油、廃プラの有価物化を推進して、廃棄物排出量を削減できたことが達成の要因となった。

今後は、廃液、廃プラなどの有価物化を促進して廃棄物排出量の削減に努める。

水使用量削減2023年度目標値1%以上に対し、釜石地区:-18%と未達成、遠野地区:3%と達成。

釜石第5工場稼働開始に伴い、水使用量増量してきたが、生産高に繋がっていないことや受注減による生産高減が大きく影響し未達成となった。

遠野工場では雨水の再利用及び手洗い場流量削減等により水使用量を削減できた。

今後は、雨水の再利用及び節水啓蒙を促進し水使用量の削減に努める。

【具体的な取組状況】

①電気

- ・不必要な場所の照明の間引き及び消灯、生産に影響しないフロアの昼休み時間及び休憩時間の消灯の徹底継続実施
- ・加工サイクルタイム短縮(プログラム見直し、刃具条件見直し等)による電力使用量削減
- ・蛍光灯照明のLED化(釜石第1工場1号棟1F設置完了)
- ・グリーン電力(100%)購入(22.4月～)
- ・省エネかんばん提出による積極的な活動参加の推進
(省エネかんばん提出件数:47件、電力使用量3300t-co2/年削減)
- ・離型剤塗布とのエアブローを省エネエアブローノズルを使用することでエア使用量削減(80,000m³/月削減)
- ・塗装機ロボットサイクルタイムのプログラムを見直して待機時間削減(4950kwh/月削減)
- ・遠野第2工場太陽光発電システム設置稼働開始(23.12月～)

②灯油

- ・空調機器の整備点検実施
- ・冷暖房の温度管理の徹底(夏:28℃以上、冬20℃以下)継続実施

③A重油

- ・暖房効率を高めるために間仕切りを実施。

④LPG

- ・塗装工程網載せ数を変更して塗装時間短縮によるLPG使用量削減(144kg/年削減)

⑤廃棄物

- ・廃プラ(PP材・PS材)分別による有価物化の実施(有価物排出量6,000kg/年)
- ・廃プラ(プラスチックパレット、バケツ等)の有価物化の実施(有価物排出量30,000kg/年)
- ・塗料カス排出方法変更による減量化の実施。(4,600kg/年削減)
- ・木製パレットの修繕再利用化の実施。(2,700kg/年修繕済)

⑥水

- ・トイレ、洗面所、シャワー室などに「節水」表示設置して啓蒙活動実施
- ・雨水タンクを設置し植物の水やりなどで再利用
- ・手洗い場の流量調整実施

⑥その他

- ・釜石・遠野地区全従業員に対し環境自覚教育を実施(8月末全従業員教育実施完了)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

1) 社会貢献活動・地域美化活動として工場周辺の清掃活動年2回以上実施する

2023年実績: 釜石工場-6月, 10月釜石第1・2・5, 4工場周辺ごみ拾い清掃活動

遠野工場-6, 9月工場周辺清掃活動

2) 生物多様性保全の推進: SDGS植栽活動年2回以上実施する

2023年実績: 釜石工場-6月, 10月釜石第1・2・5, 4工場プランター, 花壇に季節の花を植栽

遠野工場-6, 9月工場プランター, 花壇に季節の花を植栽

2) 地球温暖化防止の推進活動

業界団体の取り組みに参画/啓蒙活動の実施年2回以上

2023年実績: 7~8月環境自覚教育実施, 8月インターンシップ環境教育実施, 10月地域とはじめる環境報告会参加